



拡げよう！脱原発の輪

## NO NUKE! human chains vol.02

ゲスト 吉原毅

城南信用金庫顧問／原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟(原自連)会長 聞き手：Misao Redwolf (首都圏反原発連合)

### 城南信用金庫・協同組合主義からつながる 脱原発宣言

**Misao** 吉原さんが脱原発派になった経緯をうかがいたいと思います。

**吉原** 私は城南信用金庫で30年ぐらい、ずっと本部で経営企画をさせてもらっていました。トップの方々をサポートし、経営方針、経営理念、経営計画などをやってきた中で、信用金庫というのはどういうことをする会社なのかを知り、「協同組合主義」を学びました。

入職当時から、会社の創立者の教えとして「信用金庫は利益を目的とするのではなく、地域の方々を守り、尽くす、公共的な使命を持った会社です」と言われていました。ところが、平成元年になってから経営者が変わりまして、新自由主義、成果主義となってきたんです。

これでは会社がとんでもないことになる。私は、創立者の理念を実現するにはどうしたらいいかを考えたんですね。そこで、その経営陣と親子3代で会社を私物化している人間を、理事会、取締役会で解任決議をして、2010年11月10日に私が理事長になりました。

**Misao** まるで、クーデターのようですね。そして奇しくもそのすぐ後に、3.11福島原発事故が起こりました。

### 食べ物のことと誰とでもつながれる接点が持ちたいな と思っています。

2015年3月13日 40代女性・自由業(「ゲリラカフェ\*」オーナー)

**Q.** どういうきっかけで、この場所で食べ物を提供するようになったんですか？

**A.** テモなどで食べ物を出すことは以前からやつていました。官邸前に毎週来るようになったのは、大飯原発の再稼働が言われて20万人が集まつた頃(注：2012年6月)、ドラム隊として参加していた頃からです。寒い交流もないなど感じていたときに、キャンドルを持ってきている人や清志郎の曲をかけている人を見て、面白いことをしているなと思いました。自分にもできることがあるのではないか、得意なことをするならこれかなと思ってやってみました。

**Q.** タルトとかものすごく美味しいんですけど、プロでしょうか？

**A.** 前に、今では青山のオシャレなお店になっているレストランのお手伝いをしていました。

**Q.** 政治を動かすアイデアがあれば教えてください。

**A.** いっぱいあると思うんですよ。でも、やる人が辛いとか向いてないやり方は違うかなと思っていて、得意と感じるようなことをやっていくのが良くて、みんながこうするべきというのは違うかなと。

WEBサイト <http://coalitionagainstnukes.jp/interview/> に掲載したものから抜粋しました

NO NUKE! human chains vol.01のゲスト、吉賀茂明さんからのご紹介です。

## 「国民運動」を広げてみんなで一緒に脱原発を実現しよう

**吉原** さすがに経産省は反省して、電力会社は謝るのかと思ったら、謝らない。まずそこに違和感を覚えた。マスコミも「原発を止めると、日本は江戸時代に戻る」などと根拠なく言う。マスコミから学会から政界から官界から、財界まで全部、言論統制を敷いてきて、その異常さにゾッとした。

企業や大組織のエリートで善であるべき人たちも、私が城南信用金庫で苦労してクーデターをやった相手と同じだと、怒りがこちら(原発推進派)に転化されました。世の中の正義よりも、自分の保身や利権を優先して、人々に迷惑をかけて、卑しい根性で大切な企業や組織や政府を私物化する。

こいつら、もう許せないという、感情的な思いが爆発するわけですよ。企業として、こういうことを絶対に許すわけにはいかん。協同組合主義に基づく創立者の教えを実現しようと、2011年4月1日には、城南信金のホームページに脱原発宣言を掲載しました。

### 原発問題があぶり出す近代の対立軸とテーマ

**吉原** 原発反対というのは一部の方々だけの問題と見られがちだったから、それを変えないといけないと思い、私は経済人として、保守的な立場をあえて強調しています。ときには、徳川300年前からみたいな話をしたり、ときには神社本庁の雑誌に出たり、仏教界に出たり、キリスト教界に出たり、最近は生長の家の講師もやっているのですが、そういうところをわざと狙っています。

そうすることによって、一部の人間の言っていることではないということを、どんどん広げていきたいと思っているんです。「国民全員が言っているんですよ」と、国民運動として最終的な目的達成、勝利をめざすと

いう戦略でやっているんですね。私は多くの方々と一緒に、なんとかして原発を止めたいと思っています。

**Misao** 吉原さんが会長をされている原自連(原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟)も、そういうコンセプトですね。右も左も関係ない。

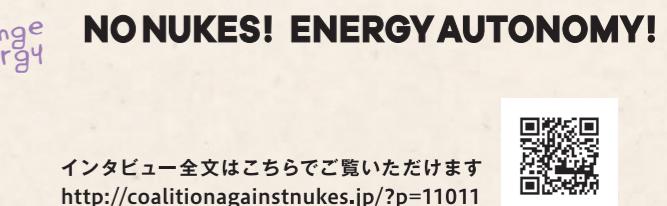
**吉原** 原発推進したいという人は、自分のことと目先のことしか考えない人なんですよ。原発はダメだと言っている人は右左関係なく、子供たちの未来や幸せ、多くの方々の将来を考え、よりよい社会を作っていくこうとされていますね。

近代の対立軸とは、従来の左派VS右派ではありません。思うに、近代社会というのは自由主義的なお金中心主義ではないですか。人をバラバラにして道徳倫理を崩壊し、ニヒリズムに陥る。金権主義は絶対にダメだ、そこが対立軸だと思うんです。金権主義者たちと、社会を大事にする人たちの対立軸。原発問題を通じて、近代社会にある根源的な対立軸があぶり出されたと言えます。

ここに今、まさに協同組合運動が最大のテーマとしてきた、反近代主義と反自由主義が重要になってくる。ポストモダニズムを希求する協同組合主義が、再び姿をあらわすのです。私は、これこそが一番大事なテーマだと思っているので、その意味でも主戦場だなと実感しています。

**吉原** 原発の問題はみんなが普通に考えるべきこと・大きな国民運動へ

**Misao** 「金曜官邸前抗議」も、開始から7年目に入りましたが、抗議に参加している皆さんにメッセージをお願いします。



インタビュー全文はこちらでご覧いただけます  
<http://coalitionagainstnukes.jp/?p=11011>



次回予告 NO NUKE! human chains vol.03 (2018年8月号掲載)  
このインタビュー・シリーズでは、ゲストのかたに次のゲストをご紹介いただきます。吉原毅さんは、作家でクレヨンハウス主宰の落合恵子さんをご紹介いただきました。

**吉原** 先日、原自連の「脱原発大賞」の審査会議をやったのですが、審査委員はみな「金曜官邸前抗議へ参加している方々は本当に表彰に値する」と話していました(\*注:2018年3月7日、首都圏反原発連合は脱原発大賞の審査委員賞を受賞しました)。

直接行動でインパクトを与え続けてくださっていること、大変ありがとうございます。その上で我々原自連も、原発ゼロは全ての人にとって正しいことだと伝え、官邸前抗議をやっている人たちを理解できるように、全国を回って説得したり、講演活動をやっていきたいと思っています。ぜひ、がんばっていただければと思います。大きな国民運動にしてゆきましょう。

原発問題はみんなが普通に考えるべきことなど、多くの人たちに理解していただけるといいなと思っています。みんなこの活動だけをやっているわけではないし、好きでやっているのではないんです。本当にやりたくないと思っていて、原発がとまれば、もうこんなことにいつまでも付き合うこともないのに、という話ですよね。

**Misao** そなんんですよね、やらざるをえなくてやっている。その上で、反原連は運営資金不足に直面し、昨年カンバを呼びかけたのですが、ありがたいことに目標の1000万円を達成できたので、あと1~2年は活動を継続できます。

**吉原** やはりみなさん応援しているんですよ。全国の、官邸前に行けない人たちの代わりにやってくれてありがとう、そういう気持ちのあらわれですよね。我が社に勤務する唐澤くんも、本気で原発をとめようという気持ちで抗議に参加しています。みなさん、我が社からの代表の唐澤くんを、よろしくお願ひいたします(笑)

### Walk and Talk it



### ドイツの「環境都市」が支えるスポーツ——SCフライブルク

資本主義と密接に結びついているゆえ、脱原発とプロスポーツは相性が悪い、と思われがちだが、再生可能エネルギーをはじめとする環境政策で先進的な世界有数の「環境首都」、ドイツ南西部「フライブルク・イム・ブライスガウ」をホームタウンとするブンデスリーガ1部・SCフライブルクはその例外にあたる。浦和レッズの監督も努めたフォルカーフィンケが16年間監督を務め、元日本代表の矢野貴章が在籍したこのフットボールクラブのスタジアムの屋根にはソーラーエネルギー用のパネルが敷かれ、全ての電気がソーラーエネルギー

によって作られ、芝暖房でもエコ・エネルギーが利用されている。

フライブルクが「環境首都」と呼ばれるようにまでなったきっかけは70年代に起きた近郊のヴィールの原子力発電所建設反対運動だった。

フライブルクの日本の姉妹都市は愛媛県の県庁所在地である松山市。単なる姉妹都市ではつまらない。県内の伊方原発の稼働を諦めて廃炉にし、国内で先立ち、「環境首都」を目指せ！せっかくの姉妹都市、学ぶチャンスは多くあるはず！(TH)

### RECORD THE POWER OF THE PEOPLE!

2012年6月29日(金) 再稼働反対！首相官邸前抗議(金曜官邸前抗議)



2012年3月29日に、大飯原発再稼働の4閣僚会議に抗議するために開始した「金曜官邸前抗議」。6月8日に野田首相が再稼働を宣言したことがトリガーとなり、15日には1万2000人、22日には4万5000人と参加者が急増し、29日には20万もの人々が官邸前の車道を埋め尽しました。ちょうど6年前のこの出来事は、その後の様々なイシューの運動にも影響を与え、また、民主主義の象徴であると評されました。

### 編集後記

「エネルギー基本計画」の見直しが大詰めです。原発事故を経てもなお、恥知らずな安倍政権が原発を推進し、世界的な潮流に乗り遅れた日本、今こそエネルギー政策の正常化と、政府に対しアカウンタビリティを求めます。

「日米原子力協定」が満期を迎えます。国内ではありませんが、日本がブルトニウムを保有することが海外からどう見られているのか、国民党はもっと認識するべきです。核燃料サイクル計画もやめさせましょう！